

環境白書の刊行に当たって

広島県知事 横田 美香



私たちが住む広島県は、南に瀬戸内海が多島美、北に雄大な中国山地を有しており、美しく豊かな自然環境に恵まれています。

本県では、この恵み豊かな環境を将来にわたって守り育てるため、「第5次広島県環境基本計画」(計画期間:令和3(2021)年度～令和7(2025)年度(令和8(2026)年10月まで延長))を策定し、環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みの構築を目指して、取組を進めてきたところです。

近年、「気候変動」、「生物多様性の損失」、海洋プラスチックごみ問題等の「汚染」が環境に関する世界的危機として国際会議等においてその対応が議論されるとともに、世界的に資源の獲得競争が激しさを増しており、資源等の廃棄を減らして再利用を促進し、環境負荷を低減する循環経済への移行は、環境保全に加え、経済安全保障や産業競争力の確保の観点からも必要不可欠な取組となっております。

本県においても、これらの社会情勢を受け、気候変動対策として、2050年ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた「省エネルギー対策等の推進」「再生可能エネルギーの導入促進」「カーボンサイクルの推進」等に取り組むとともに、熱中症予防や農林水産などの各分野における適応策を推進することとしております。

また、海洋プラスチックごみ対策については、2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指し、官民連携組織の「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム(GSHIP)」において、代替素材製品の普及促進やリユース等によるプラスチックの使用量削減等の実証や社会実装を目指した取組を進めております。

これらに加え、自然環境と生物多様性の保全を推進するため、生物多様性や希少野生生物の保全への関心を喚起するとともに、クマ等による人身被害を防ぎ、人の生活と野生鳥獣との軋轢を解消するための取組を進めております。また、循環経済への移行に向けた資源循環の推進など、「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」に向けて取り組んでまいります。

この白書では、「第5次広島県環境基本計画」の体系に沿って、本県の環境の現状と課題及びこれらに対する取組などを幅広く掲載しています。

本書が、県民や事業者の皆様の環境に関する理解を深め、考え、そして行動につなげるための一助となることを願っております。

令和8(2026)年9月